

団体・事業者名称 藤井 さやか



事業名 行動の連鎖を生むネットワーク事業

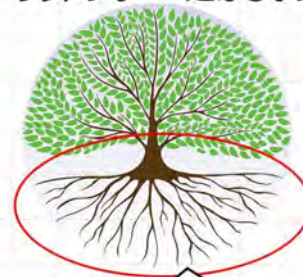
目的

行動の連鎖を生むネットワーク事業の構築

地域価値(人・モノ・コト)を発見・発信していくプラットフォーム「行動の連鎖が起きる媒体となる活動」を立ち上げるための準備、およびネットワーク事業の構築を目的とする。

団体を立ち上げるにあたり、関わる人にとっての起動力となるミッションビジョンを描くことが地域社会で持続可能な団体になっていくために必要不可欠であると考え、そこを丁寧に育て、行動していくネットワーク構築の準備期間とする。

地域の人が繋がる
プラットフォームとなる事業



土壌を整える

現状

収益化が難しい地域活動の課題

商店街活性化を目的の1つとして「ぬまづパンまるしえ」「サンタ×サンタ×サンタ」を開催しているが、運営資金と、スタッフのモチベーションの維持(疲弊)が常に課題になってしまっている。しかし、ここで培った人と人の繋がりや経験は、財産であり、人は地域の価値であると考え、地域活動＝ボランティアではなく、関わる人が「出会えてよかった」と言い合えるようなプラットフォームとなる場づくり、その土壌づくりをこの事業でおこなった。



活動

人の想いが育てられる場所

未来を見据えた持続可能な活動の立ち上げを目指し、その土壌を作りとなる対話の場を、メンバーを変えながら4回に渡り行った。実際に三島のまちづくりに深く関わる川村結里子氏を講師として迎え、様々な分野で活躍する20代～40代メンバーが集まった。人の想いを育てられる場所、その想いに共感し、応援し、刺激しあう、可能性や価値を未来につなげる対話の場となり、有意義な時間となった。活発な意見交換は、知識やスキル、ノウハウ、人脈などの地域資源をシェアし合うことができた。目指したい未来が明確となり、「ひととき百貨店」という地域価値の魅力を発信する仮想百貨店を立ち上げる準備をしていく。



振り返り 課題

人と時(ひと・とき)が繋がるプラットフォーム「ひととき百貨店」立ち上げ

「出会えてよかった」を紡いで暮らしに喜びを まちにわくわくを

この地域に住んでいることに誇りと喜びを持ち、出会えてよかったを紡ぎあえるような地域社会、地域財産(人・コト・モノ)の価値向上及び活性化に寄与していく。また、地域の人がわくわくと繋がるプラットフォームとなる事業を目指す。活動を継続するための資金の確保が当面の課題ではあるが、次年度からの3年間は、ファンドの力を借りながら、挑戦→定着→自立に向けて、収益事業に繋げることを常に念頭に置き、丁寧に誠実に活動しファンを増やしていくことに努める。



お問い合わせ ichigostaff@yahoo.co.jp / 090-1620-6337(藤井)